

## 研究対象者等に通知し、又は公開すべき事項（情報公開用）

申請番号： 19-120

① 試料・情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）

・研究課題名：骨肉腫肺転移再発例の予後因子解析および予後予測モデルの開発に関する多施設共同研究－骨軟部肉腫治療研究会（JMOG）多施設共同研究－

・目的：大腿骨全置換術の成績向上のために改善すべき点を明らかにすること。

・研究期間： 倫理委員会承認日～2020年11月23日

・研究対象： 2008年4月1日～2016年12月31日

・他機関への提供方法：対象患者の診療情報を収集し、匿名化したうえで研究事務局（国立がん研究センター）に送付する。研究事務局では、送付された患者の臨床データをとりまとめ、本研究の統計解析を担当する東京大学大学院医学系研究科 臨床疫学・経済学講座へデータを送付する

② 利用し、又は提供する試料・情報の項目

：以下の項目を調査します。

・患者基本情報：性別、診断時年齢、人種、腫瘍径、腫瘍の部位、AJCC stage、病的骨折の有無

・手術情報：手術日、術式、切除縫

・治療情報：化学療法、放射線療法の有無と詳細、化学療法の組織学的効果

・予後情報

③ 利用する者の範囲

：当院での研究責任者は、骨軟部組織腫瘍科・整形外科の今西淳悟です。研究全体の研究代表者は、国立がん研究センター中央病院骨軟部腫瘍科・リハビリテーション科の川井章先生です。

④ 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

：当院での研究責任者は、骨軟部組織腫瘍科・整形外科の今西淳悟です。